

今日贈故太政大臣藤原朝臣正一位封甲斐國謚曰仁義公○又見其

實行桑略記

〔台記〕久壽二年四月四日庚辰聞太政大臣○藤原疾病由使憲雅問之其次示曰賜謚者死後之榮也勿辭官職就中法住寺太政大臣爲光閑院太政大臣○公季乍居職薨宜從彼例頃之歸來曰年過七旬身受重病不得存命至于今日猶爲希有抑見諸儒之失者君與我也我將死今唯在君嗚呼哀哉

〔南方紀傳上〕元弘三年夏六月廿三日師賢墓謚文貞公

〔新葉和歌集雜十六〕花山院贈太政大臣百首歌讀てをくりたりける返事に

戀しさもいかにせよとてわかの浦になれし千鳥の跡をみすらん

中務卿尊良親王

返し
文貞公

君だにも戀なるわかの友ちぞりいかにねをなく恨とか玄る

○按ズルニ謚號ハ生前太政大臣ト爲リシモノニ限リテ出家入道シタルモノニハ之ヲ稱セザルヲ以テ例トス然ルニ藤原師賢ハ贈太政大臣ニシテ且ツ既ニ出家セシコトハ新葉和歌集ニ見エタリ蓋シ特例ナリナホ帝王部謚號篇出家不上謚ノ條ヲ參看スベシ

〔柳營譜略草〕

義直卿

賴房卿

慶安三年庚寅五月七日於江戸逝去御年五十一葬尾州建中寺御謚源敬公

〔西山遺事〕同文○寛十年庚戌正月二十二日靖伯公方御謚也御諱綱薨じ給ふ